

ICT講座（プログラミング）講座  
カリキュラムのイメージ

年間講座時間 140時間（4h×34日，2h×2日）

定員：25名（予定）

講座内容	講座日数 (日)	講座時間 (時間)
1 アルゴリズム、コンピュータ及びプログラムについて		
<ul style="list-style-type: none"> <li>① それぞれの意味と役割</li> <li>② 課題解決法としてのアルゴリズム</li> <li>③ アルゴリズムとフローチャートとの関係</li> <li>④ フローチャートと、コンピュータ・プログラムとの関係</li> <li>⑤ フローチャートによる課題解決実習</li> <li>⑥ コンピュータの構成と機能</li> </ul>		
2 PCの基礎（※OSは，原則としてWindows10以上を想定）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>① PCの構成と機能</li> <li>② 基本操作</li> <li>③ 文字入力システム</li> <li>④ ファイルの作成と保存、操作</li> <li>⑤ インターネット（ブラウザ、検索など）</li> <li>⑥ メールの設定と使い方</li> <li>⑦ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>キャプチャリング</li> <li>画像（取り込み、保存、編集等）</li> <li>動画作成など</li> </ul> </li> </ul>		
3 小学校にけるプログラミング教育		
<ul style="list-style-type: none"> <li>① プログラミング教育導入の背景、経緯</li> <li>② 小学校学習指導要領のポイント（情報教育、ICT関係）</li> <li>③ プログラミング教育のねらい</li> <li>④ プログラミング教育により育成すべき資質・能力</li> <li>⑤ プログラミング的思考について</li> <li>⑥ 小学校におけるプログラミング学習の分類</li> <li>⑦ 地域等との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民ボランティアの活用、NPO等との連携など</li> </ul> </li> </ul>		

※大項目の内容を理解させるために必要な内容（小項目）を提案してください。

※提案内容は，必要に応じ，プレゼンテーション時に詳しい説明を行ってください。

講座内容	講座日数 (日)	講座時間 (時間)
4 Viscuit		
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 基礎 小学校プログラミング教育に関する研修教材による</li> <li>② 応用</li> <li>③ 練習問題</li> </ul>		
5 Scrach		
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 基礎 小学校プログラミング教育に関する研修教材による</li> <li>② 応用</li> <li>③ 練習問題</li> </ul>		
6 様々な教材を使った学習		
<p>(例) alilo, toio, studuino, micro:bit など</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>※(例)に記載の教材は、とくしま"あい"ランド推進協議会のものを使用できます。</p> </div>		
7 インストラクション		
<ul style="list-style-type: none"> <li>① サポーター及びゲストティーチャーとしての心構え</li> <li>② 児童等に対する指導方法</li> </ul>		
8 卒業試験		
<ul style="list-style-type: none"> <li>●筆記試験、学習指導案作成など</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>※現時点で考えられる内容や方向性等を記入してください。</p> </div>		